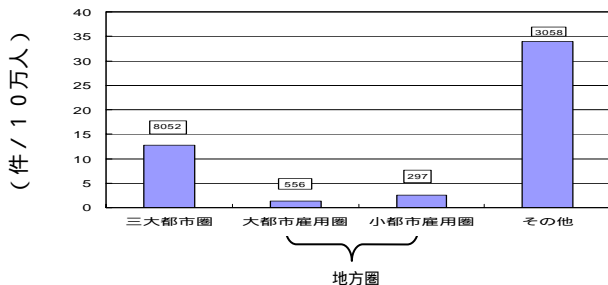


指標：重要有形文化財等の登録数

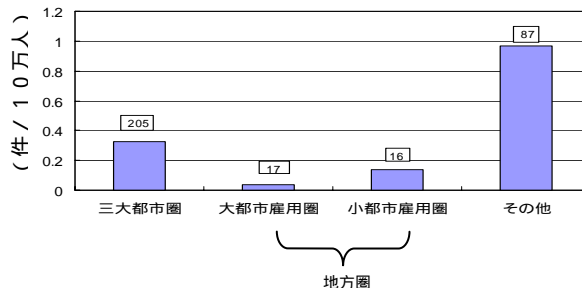
(人口当たりの重要有形文化財等)

重要有形文化財、重要無形文化財、祭り・イベント数については、実数で見ると三大都市圏が多いが、人口当たりで見ると、その他地域が高くなっている。

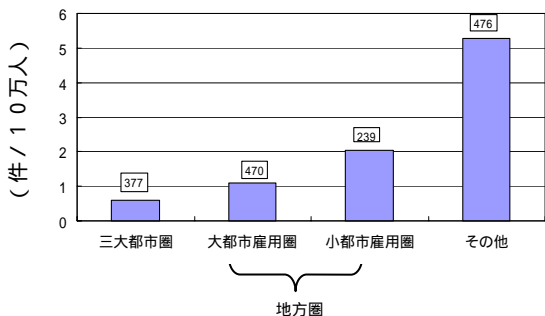
重要有形文化財数 (10万人当たり)



重要無形文化財数 (10万人当たり)



祭り・イベント数 (10万人当たり)



(出典)文化庁資料、せとうち総合研究機構「誇れる郷土ガイド口承・無形遺産編」より、国土交通省国土計画局作成。

(注)1. 都市圏は「日本の都市圏設定基準」(金本良嗣、徳岡一幸)による。ここでの大都市雇用圏とは中心市のDID人口が5万人以上、小都市雇用圏とは中心市のDID人口1万以上5万人未満の市町村とした(以下同じ)。

(注)2. 三大都市圏とは東京圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)、名古屋圏(岐阜県、愛知県、三重県)、関西圏(京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)である。

(注)3. グラフ上の数値は実数である。